

医業経営情報 REPORT

4

2015

医業経営

平成 26 年決算データからみる

医科診療所経営実績分析

- 平成 26 年 医科診療所経営実績分析
- 平成 26 年 収入上位診療所の経営実態
- 平成 26 年 診療所経営指標分析
- 平成 26 年 診療科目別経営実績分析



1 | 平成 26 年 医科診療所経営実績分析

1 医科診療所経営実績分析の概要

本調査は、平成 26 年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している平成 25 年との比較を通して、前年実績との改善または悪化の状況を分析しています。抽出したデータは、平成 26 年に決算を終えた無床診療所 269 件（医療法人 195 件、個人開業 74 件）の主要科目を抽出し、平均値を算出しています。なお本分析では、個人開業及び医療法人の実数値をそれぞれ集計した後、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	120,507	121,823	101.1
1. 保険診療収入	105,870	108,223	102.2
2. 保険外診療収入	12,696	11,863	93.4
3. その他の医業収入	1,941	1,737	89.5
II 変動費	19,986	20,254	101.3
材料費	16,966	17,238	101.6
検査委託費	3,020	3,016	99.9
III 限界利益	100,521	101,569	101.0
IV 医業費用	56,822	59,045	103.9
1. 人件費	29,057	29,701	102.2
2. その他固定費	27,765	29,344	105.7
減価償却費	4,328	4,405	101.8
地代・家賃	6,561	6,442	98.2
研究研修費	314	321	102.2
保険料	2,720	2,849	104.7
接待交際費	1,404	1,499	106.8
その他経費	12,438	13,828	111.2
V 医業利益	43,699	42,454	97.2

2 医科診療所 全体動向と利益の状況

(1) 医科診療所 全体動向

平成 26 年における医科診療所の経営実績は、平成 25 年と比較して増収減益となりました。データのとおり、対前年比 1 % 台の数値が多く、全体として、大きな変化は見られませんでした。黒字診療所は、全体の 84.5% を占めています。

医業収入は、1.1% のプラス、保険診療収入が 2.2% と増加しました。変動費は、1.3% の増加となりました。限界利益は 1.0% のプラスとなりましたが、医業費用 3.9% の増加により、医業利益は 2.7% の減少となりました。

医業収入・費用等全体の状況

● 医業収入

対前年比 1.3% の増加、金額にして 1,316 千円の増収となりました。保険診療収入が増加した一方で、保険外診療収入が減少しています。

● 変動費・医業費用

変動費は対前年比 3.9% の増加となっています。材料費は増加しましたが、検査委託費はほとんど変わっていません。

医業費用は、対前年比 1.7% の増加となっています。役員報酬と専従者給与を除いた人件費は、2.2% の増加となっています。その他固定費は、対前年比 5.7% の増加となりました。

● 医業利益

平成 26 年の平均医業利益は、42,524 千円であり、対前年対比 2.8%、金額にして 1,245 千円の減少という結果となりました。

(2) 医科診療所 利益状況

限界利益、経常利益は、わずかながら増加となりましたが、医業利益は減少しました。

限界利益が対前年比 101.0%、医業利益が同 97.3%、経常利益が同 99.4% という結果となりました。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
限界利益	100,521	101,569	101.0
医業利益	43,699	42,524	97.3
経常利益	44,959	44,686	99.4

3 医業収入 対前年増減比較分析

(1) 医業収入分析

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では、対前年比 101.1%となっています。保険診療収入が 2.2%の増加となりましたが、保険外診療収入及びその他の医業収入がともに減少しました。

■ 医業収入

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
医業収入合計	120,507	121,823	101.1
保険診療収入	105,870	108,223	102.2
保険外診療収入	12,696	11,863	93.4
その他医業収入	1,941	1,737	89.5

■ 医業収入分析

内訳をみると、保険診療収入は 2,353 千円の増加、保険外診療は 833 千円の減少、その他の医業収入は、204 千円の減少となっています。

4 医業費用 対前年増減比較分析

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。特に、その他の固定費が増加しており、消費税 8%への税率引き上げが影響したと思われます。

① 変動費（医薬品・医療材料費）

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
変動費合計	19,986	20,254	101.3
変動費率	16.6%	16.6%	0.0
材料費	16,966	17,102	101.6
検査委託費	3,020	3,016	99.9

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
人件費合計	29,057	29,701	102.2
(参考) 役員報酬	38,235	38,529	100.8
(参考) 専従者給与	4,697	4,914	104.6

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
その他固定費合計	27,765	29,344	105.7
減価償却費	4,328	4,405	101.8
地代・家賃	6,561	6,442	98.2
研究研修費	314	321	102.2
保険料	2,720	2,849	104.7
接待交際費	1,404	1,499	106.8
その他経費	12,438	13,828	111.2

(2) 医業費用分析

● 変動費

平成 26 年全法人平均で 20,254 千円となり、前年と比較すると 1.3% 増加しています。この数値は材料費及び検査委託費で集計しており、材料費が 1.6% 増加、検査委託費は 0.1% 減少となっています。

● 人件費

平成 26 年平均で 29,057 千円、対前年比 2.2% の増加となっています。前期は、若干の減少でしたが、平成 26 年はプラスに転じました。職種によって採用困難な状況がみられ、離職防止また、採用を見越した賃金の改定が要因として考えられます。別途集計したデータでは、役員報酬は平成 26 年平均で 38,529 千円、専従者給与は 4,914 千円となっています。

● その他固定費

平成 26 年全法人平均で 29,344 千円となりました。

前年と比較すると、金額で 1,579 千円 (5.7%) の増加となりました。26 年 4 月より消費税率が 8% に引き上げられた影響で、研究研修費、接待交際費が増加しています。最終的に、その他経費含めコスト全体が増加しました

2 | 平成 26 年 収入上位診療所の経営実態

1 収入上位診療所経営実態調査の概要

第 1 章で分析した無床診療所 269 件（医療法人 195 件、個人開業 74 件）の決算書より、収入上位 20%を抽出し、経営データを集計しました。分析の分母は 53 件となります。内訳は、医療法人 46 件、個人開業 7 件となっています。

■平成 26 年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	211,045	215,338	102.0
1. 保険診療	188,407	194,305	103.1
2. 保険外診療収入	19,745	18,889	95.7
3. その他の医業収入	2,893	2,144	74.1
II 変動費	44,745	46,152	103.1
材料費	38,987	40,426	103.7
検査委託費	5,758	5,726	99.4
III 限界利益	166,300	169,188	101.7
IV 医業費用	93,566	100,428	107.3
1. 人件費	54,816	55,921	102.0
(参考 役員報酬)	(56,410)	(56,787)	100.7
2. その他固定費	38,750	44,507	114.9
減価償却費	6,056	6,063	100.1
地代・家賃	9,157	9,204	100.5
研究研修費	350	430	122.9
保険料	4,764	4,952	103.9
接待交際費	1,813	2,364	130.4
その他経費	16,610	21,494	129.4
V 医業利益	72,734	68,760	94.5

2 収益性の状況

(1) 経営動向と利益状況

平成 26 年診療所経営実績は増収減益でした。収入上位診療所も同様に、増収減益となりました。黒字診療所の割合は 88.7%でした。全体では 84.5%が黒字でしたから、収入上位の方が黒字割合が高いという結果となりました。

医業収入は全診療所データでは、1.1%の増収でしたが、収入上位診療所では、2.0%増加しています。収入上位の診療所においても、保険外診療収入は減少していますが、保険診療収入は増加しています。

変動費は前年比 3.1%増、また限界利益は同 2.5%の増加となりました。

医業費用は、人件費が 2.0%の増加、その他固定費は 14.9%の増加となりました。

■限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
限界利益	166,300	169,188	102.5
医業利益	72,734	68,760	94.5
経常利益	80,655	78,660	97.5

結果として、医業利益は 5.5%の減少、経常利益は 2.5%の減少となりました。

医業収入は対前年比 2.0%増加し、金額にして 4,293 千円の増収となりました。

内訳をみると、保険診療収入が前年比 3.1%の増加となった一方、保険外診療収入は 4.3%のマイナス、その他の医業収入も 25.9%のマイナスとなっています。

保険診療収入に関しては、受診抑制の影響を受けていませんでした。

変動費は、対前年比 3.1%増となっています。材料費が 3.7%増加、また検査委託費は 0.6%減少しています。

医業費用は、対前年比 7.3%、金額では 6,862 千円の増加となりました。

内訳を見ますと、人件費が 2.0%の増加でした。その他固定費は 14.9%、金額にして 5,757 千円の増加となりました。

医業利益は、対前年比 5.5%と減少、金額にして 3,974 千円の減益となりました。これに伴い、経常利益は 2.5% (1,995 千円) の減少となっています。

3 医業収入の状況

(1) 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
医業収入合計	211,045	215,338	102.0
保険診療収入	188,407	194,305	103.1
保険外診療収入	19,745	18,889	95.7
その他医業収入	2,893	2,144	74.1

(2) 医業収入分析 (医業収入上位 20%)

医業収入は 215,338 千円であり、金額にして 4,293 千円、前年に比べ 2.0%の増収となりました。

医業収入の内訳は、保険診療収入が 194,305 千円(対前年比 103.1%)となり、保険外診療収入は 18,889 千円(同 95.7%)と減少、その他医業収入も 2,144 千円(同 74.1%)と大きく減少しています。

4 医業費用の実態

(1) 医業費用対前年比較

① 変動費 (材料費・検査委託費)

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
変動費合計	44,745	46,152	103.1
変動費率	21.2%	21.4%	
材料費	38,987	40,426	103.7
検査委託費	5,758	5,726	99.4

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
人件費合計	54,816	55,921	102.0
参考 役員報酬	56,410	56,787	100.7

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
その他 固定費合計	38,750	44,507	114.9

(2) 医業費用分析

●変動費

平成 26 年収入上位平均で、46,152 千円（対前年比 3.1%増）となりました。

材料費は増加（1,439 千円、対前年比 3.7%増）となり、検査委託費は 32 千円、対前年比 99.4%と、ほぼ同額となりました。

●人件費

平成 26 年収入上位平均で、55,921 千円（役員表集を除く、対前年比 2.0%増加）となりました。

労働分配率は、33.0%で、前年と同率となりました。

役員報酬の平均は、平成 26 年 56,787 円（前年から 0.7%増）、ほぼ同額となっています。

また、専従者給与の平均額は 5,770 千円、こちらも前年とほぼ同額となっています。

●その他固定費

固定費の合計は、平均で 5,757 千円の増加（対前年比 14.9%増）という実績となりました。

消費税の影響が、上位データにも出ています。

3 | 平成 26 年 診療所経営指標分析

1 医療法人経営指標分析の概要

本章では、医療法人 195 件の無床診療所をベースに、貸借対照表の数値を抽出し、経営指標を算出しました。分析は、収益性、生産性、安全性、成長性の 4 つの視点で行っています。第 1 章では、医療法人・個人開業のデータを合算しました。法人・個人合算データで経営指標を分析すると、役員報酬を除いているため異常値が発生します。よって、医療法人 195 件をベースに分析を行いました。

■平成 26 年比較貸借対照表 全診療所平均

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	平成 25 年	平成 26 年		平成 25 年	平成 26 年
【流動資産】	52,753	55,232	【流動負債】	14,788	15,233
現金・預金	31,816	34,225	買掛金	2,990	4,259
医業未収金	16,828	16,602	その他	11,798	10,974
その他	4,109	4,405	【固定負債】	17,073	16,230
【有形固定資産】	20,271	20,101	長期借入金	14,385	12,417
【無形固定資産】	5,169	5,952	その他	2,688	3,813
【その他の資産】	17,453	19,925	負債合計	31,861	31,463
			資本の部		
				平成 25 年	平成 26 年
			【出資金】	11,733	12,228
			【資本剰余金等】	52,052	57,519
固定資産計	42,893	45,978	資本合計	63,785	69,747
資産合計	95,646	101,210	負債・資本合計	95,646	101,210

2 収益性分析 前年対比

		平成 25 年度	平成 26 年度	増 減
収益性	総資本経常利益率 (%)	10.8%	7.9%	2.9%
	医業収入医業利益率 (%)	6.4%	5.2%	1.2%
	医業収入経常利益率 (%)	7.8%	6.0%	1.8%
	総資本回転率 (回)	1.4 回	1.3 回	0.1 回

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

■収益性分析コメント

● 総資本経常利益率

平成 26 年度の実績は経常利益が、前年比 21.9%のマイナスとなっているため、医療法人立診療所の経営効率は低下しています。

● 医業収入医業利益率・医業収入経常利益率

総資本経常利益率と同様に、医業利益・経常利益の減少によって、いずれも悪化しています。

● 総資本回転率

医業収益は 0.4%の微増であり、回転率に大きな変化はありませんでした。

3 生産性分析 前年対比

		平成 25 年度平均	平成 26 年度平均	増 減
生産性	限界利益率 (%)	83.4%	83.2%	0.2%
	1 人当たり医業収入/月 (千円)	1,011 千円	1,044 千円	33 千円
	1 人当たり限界利益/月 (千円)	843 千円	869 千円	26 千円
	1 人当たり人件費/月 (千円)	546 千円	569 千円	23 千円
	労働分配率 (%)	64.7%	65.5%	0.8%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率	限界利益 ÷ 医業収入 × 100（%）
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る	（医業収入 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	（限界利益 ÷ 医業収入） ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料等の事業所負担も含めたもの）を見る	（総額人件費 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100（%）

■生産性分析コメント

● 限界利益率

変動費の増加により、前年よりも数値が 0.2% のマイナスとなっています。

● 一人当たりの売上高（医業収入）・一人当たり限界利益

いずれも前年度より増加しています。収入、限界利益ともに微増に対して、人件費は 1.3% 増加していることが要因です。

● 一人当たり人件費

人件費は前述のとおり、1.3% 増加しています。これにより、一人当たりの金額も増加しています。

● 労働分配率

労働分配率は、前年 64.7% に対し、26 年は 65.5% となり、0.8% 増加しています。限界利益が人件費以上に増加しなかったことが要因と思われます。

4 安全性分析 前年対比

		平成 25 年	平成 26 年	増減
安全性	流動比率（%）	356.7%	362.6%	5.9%
	当座比率（%）	328.9%	333.7%	4.8%
	固定比率（%）	67.2%	65.9%	1.3%
	固定長期適合率（%）	53.0%	53.4%	0.4%
	自己資本比率（%）	66.7%	68.9%	2.2%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	当座資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ 自己資本 × 100(%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100(%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る	自己資本 ÷ 総資産 × 100(%)

■安全性分析コメント

●流動比率・当座比率

流動比率は、前年から 5.9%の増加となりました。引き続き高い短期的な債務返済能力を有していると評価できます。

当座比率も、4.1%増加し、換金可能な資産による債務返済能力も高くなっています。

●固定長期適合率

0.4%と微増となっていますが、53.4%と望ましい水準は変わっていません。

●自己資本比率

他業種と比較して高い水準を維持しており、財務体質は健全な状況であるといえます。

5 成長性分析 前年対比

		平成 25 年	平成 26 年
成長性	医業収入増加率 (%)	1.5%	0.4%
	限界利益増加率 (%)	2.9%	1.5%
	医業利益増加率 (%)	6.1%	19.1%
	経常利益増加率 (%)	18.5%	21.9%
	自己資本増加率 (%)	22.8%	9.3%

■成長性分析コメント

分析結果では、成長性において、利益を連動する指標がマイナスとなりました。前回調査は、収入の減少により限界利益が大きく減少しました。26 年度は、医業収入は増加しましたが、消費税 8%の影響により、コストが大幅に増加しました。結果として、コストの増加を収入でカバーできずに減益につながったため利益に連動する各数値が悪化したと推測できます。

4 | 平成 26 年 診療科目別経営実績分析

1 診療科目別経営実績分析の概要

本分析で抽出したデータは、平成 26 年に決算を終えた無床診療所 269 件（医療法人 195 件、個人開業 74 件）から診療科目別に抽出し、各診療科目別の平均値を算出しています。

なお、抽出した診療科目は、内科、小児科、心療内科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科となっております。第 1 章のデータ同様、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■各データのサンプル数

内科	128 件（医療法人	101 件	個人開業	27 件）
小児科	24 件（医療法人	15 件	個人開業	9 件）
心療内科	14 件（医療法人	9 件	個人開業	8 件）
整形外科	24 件（医療法人	19 件	個人開業	5 件）
皮膚科	22 件（医療法人	14 件	個人開業	8 件）
耳鼻咽喉科	23 件（医療法人	15 件	個人開業	8 件）
眼科	11 件（医療法人	9 件	個人開業	3 件）

診療科目別の個別データは、次ページ以降に掲載しました。診療科目別に集計した主要科目は、下記のとおりです。

■平成 26 年 診療科目別主要データ

（単位：千円）

	内科	小児科	心療内科	整形外科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科
医業収入	123,099	106,111	104,300	146,634	96,918	94,180	111,238
変動費	25,334	20,228	11,211	23,121	6,747	6,176	10,756
限界利益	97,765	85,883	93,089	123,513	90,171	88,004	100,482
医業費用	52,555	52,918	53,604	86,259	54,425	43,823	56,799
人件費	26,489	19,834	21,256	47,762	30,105	20,549	26,365
医業利益	45,210	32,965	39,485	37,254	35,746	44,181	43,683
参考：役員報酬	40,517	31,788	44,302	39,943	36,902	33,691	39,377

2 診療科目別経営実績分析結果

(1) 内科診療所

内科を標榜している診療所の集計データです。内科診療所は、増収増益となりました。ただし、医業収入は、0.3%の増加と前年と変わっていません。

役員報酬は、26年平均で、40,517千円となっています。

医業利益は、45,210千円（対前年比2.1%増加）となりました。

■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	122,732	123,099	100.3
1. 保険診療収入	112,872	113,851	100.9
2. 保険外診療収入	8,114	7,872	97.0
3. その他の医業収入	1,746	1,376	78.8
II 変動費	24,868	25,334	101.9
材料費	20,562	20,963	102.0
検査委託費	4,306	4,371	101.5
III 限界利益	97,864	97,765	99.9
IV 医業費用	53,568	52,555	98.1
1. 人件費	26,024	26,489	101.8
2. その他固定費	27,544	26,066	94.6
減価償却費	3,765	3,770	100.1
地代・家賃	5,817	5,818	100.0
研究研修費	285	299	104.9
保険料	2,648	2,861	108.0
接待交際費	1,216	1,122	92.3
その他経費	13,813	12,196	88.3
V 医業利益	44,296	45,210	102.1

n=128 件 (医療法人 101 件 個人開業 27 件)

(2)小児科診療所

小児科を標榜している診療所の集計データです。小児科診療所は、減収減益となりました。

保険診療収入は 2.3%と増加しましたが、保険外診療収入等が減少しました。

役員報酬は、26 年平均で、31,788 千円となっています。

ただし、医業利益は、32,965 千円（対前年比 1.8%減少）となりました。

■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	107,300	106,111	98.9
1. 保険診療収入	69,450	71,046	102.3
2. 保険外診療収入	33,503	31,361	93.6
3. その他の医業収入	4,348	3,704	85.2
II 変動費	21,452	20,228	94.3
材料費	19,856	18,703	94.2
検査委託費	1,596	1,525	95.6
III 限界利益	85,848	85,883	100.0
IV 医業費用	52,283	52,918	101.2
1. 人件費	19,121	19,834	103.7
2. その他固定費	33,162	33,084	99.8
減価償却費	4,366	4,313	98.8
地代・家賃	5,476	5,525	100.9
研究研修費	241	223	92.5
保険料	1,863	1,851	99.4
接待交際費	896	771	86.0
その他経費	20,320	20,401	100.4
V 医業利益	33,565	32,965	98.2

n=24 件（医療法人 15 件 個人開業 9 件）

(3) 心療内科・精神科診療所

心療内科・精神科を標榜している診療所の集計データです。心療内科・精神科診療所は、増収増益となりました。

医業収入は対前年比 1.1% 増加、医業利益は対前年比 5.2% の増加となりました。

保険診療収入が、1.4% と増加しましたが、保険外診療収入等は減少しています。

役員報酬は、26 年平均で、44,302 千円となっています。

■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	103,152	104,300	101.1
1. 保険診療収入	99,338	100,756	101.4
2. 保険外診療収入	3,303	3,057	92.6
3. その他の医業収入	511	487	95.3
II 変動費	11,190	11,211	100.2
材料費	9,817	10,010	102.0
検査委託費	1,373	1,201	87.5
III 限界利益	91,962	93,089	101.2
IV 医業費用	54,443	53,604	98.5
1. 人件費	20,001	21,256	106.3
2. その他固定費	34,442	32,348	93.9
減価償却費	3,756	3,570	95.0
地代・家賃	6,521	6,572	100.8
研究研修費	328	331	100.9
保険料	3,334	3,324	99.7
接待交際費	1,008	971	96.3
その他経費	19,495	17,580	90.2
V 医業利益	37,519	39,485	105.2

n=14 件 (医療法人 6 件 個人開業 8 件)

(4) 整形外科診療所

整形外科診療所の集計データです。整形外科診療所は、増収減益となりました。

医業収入は、0.5%の増加とほぼ前年並ですが、変動費、医業費用ともに増加し、結果として、医業利益は5.9%、金額にして2,322千円の減少となりました。

役員報酬は、26年平均で、39,943千円となっています。

■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	145,868	146,634	100.5
1. 保険診療収入	128,373	130,886	102.0
2. 保険外診療収入	14,265	12,601	88.3
3. その他の医業収入	3,230	3,147	97.4
II 変動費	22,309	23,121	103.6
材料費	20,011	208,497	104.2
検査委託費	2,298	2,272	98.9
III 限界利益	123,559	123,513	100.0
IV 医業費用	83,983	86,259	102.7
1. 人件費	46,754	47,762	102.2
2. その他固定費	37,229	38,497	103.4
減価償却費	4,432	5,282	1119.2
地代・家賃	9,235	9,508	103.0
研究研修費	387	361	93.3
保険料	2,994	3,132	104.6
接待交際費	2,008	2,072	103.2
その他経費	18,173	18,142	99.8
V 医業利益	39,576	37,254	94.1

n=24 件 (医療法人 19 件 個人開業 5 件)

(5) 皮膚科診療所

皮膚科を標榜している診療所の集計データです。皮膚科診療所は、増収増益となりました。

1%台とわずかですが、医業収入は増加、医業利益は3.4%の増加となりました。

役員報酬は、26年平均で、36,902千円となっています。

■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	95,856	96,918	101.1
1. 保険診療収入	87,168	87,606	100.5
2. 保険外診療収入	7,680	8,386	109.2
3. その他の医業収入	1,008	926	91.9
II 変動費	6,542	6,747	103.1
材料費	5,384	5,581	103.7
検査委託費	1,158	1,166	100.7
III 限界利益	89,314	90,171	101.0
IV 医業費用	54,756	54,425	99.4
1. 人件費	29,663	30,105	101.5
2. その他固定費	25,093	24,320	96.9
減価償却費	4,137	3,792	91.7
地代・家賃	5,209	5,269	101.2
研究研修費	414	467	112.8
保険料	2,609	2,677	102.6
接待交際費	1,202	1,252	104.2
その他経費	11,522	10,863	94.3
V 医業利益	34,558	35,746	103.4

n=22 件 (医療法人 14 件 個人開業 8 件)

(6)耳鼻咽喉科診療所

耳鼻咽喉科を標榜している診療所の集計データです。耳鼻咽喉科診療所は、減収減益となりました。

医業収入は、保険外診療収入が 6.2%増加しましたが、保険診療収入が 0.9%減少しました。役員報酬は、26 年平均で、33,691 千円となっています。

医業利益は 44,181 千円（対前年比 3.0%減少）金額にして 1,348 千円の減少となりました。

■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	94,974	94,180	99.2
1. 保険診療収入	92,174	91,333	99.1
2. 保険外診療収入	1,731	1,839	106.2
3. その他の医業収入	1,069	1,008	94.2
II 変動費	6,251	6,176	98.8
材料費	4,713	4,752	100.8
検査委託費	1,538	1,424	92.6
III 限界利益	88,723	88,004	99.2
IV 医業費用	43,194	43,823	101.5
1. 人件費	19,662	20,549	104.5
2. その他固定費	23,532	23,724	100.8
減価償却費	4,790	4,876	101.8
地代・家賃	6,816	6,825	100.1
研究研修費	210	184	87.6
保険料	2,022	2,098	103.8
接待交際費	788	800	101.5
その他経費	8,906	8,941	100.4
V 医業利益	45,529	44,181	97.0

n=23 件（医療法人 15 件 個人開業 8 件）

(7)眼科診療所

眼科を標榜している診療所の集計データです。眼科診療所は、増収増益となりました。

医業収入は対前年比 2.5%増、保険診療収入も保険外診療収入も増加しました。

役員報酬は、26 年平均で、39,377 千円となっています。

医業利益は、43,683 千円(対前年比 3.2%増加)、金額にして 1,335 千円の増加となっています。

■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 25 年	平成 26 年	前年対比 (%)
I 医業収入	108,546	111,238	102.5
1. 保険診療収入	107,660	110,276	102.4
2. 保険外診療収入	510	617	121.0
3. その他の医業収入	376	345	91.8
II 変動費	10,209	10,756	105.4
材料費	9,880	10,366	104.9
検査委託費	329	390	118.5
III 限界利益	98,337	100,482	102.2
IV 医業費用	55,989	56,799	101.4
1. 人件費	25,834	26,365	102.1
2. その他固定費	30,155	30,434	100.9
減価償却費	6,694	7,106	106.2
地代・家賃	5,174	5,198	100.5
研究研修費	334	325	97.3
保険料	1,255	1,171	93.3
接待交際費	1,004	964	96.0
その他経費	15,694	15,670	99.8
V 医業利益	42,348	43,683	103.2

n=11 件 (医療法人 8 件 個人開業 3 件)